

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月20日		記入者	内線	749 - 2214
部 名	土木部	課 名	南土木事務所	課長名	八木博
事務事業名	交通バリアフリー道路特定事業				
予算上の事務事業名	交通バリアフリー道路特定事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		32210		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます				
基本施策名	第2節 安全でゆとりある道路の整備				事業開始年度
施策名	第1施策 人にやさしいみちづくり				平成15年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律、相模原市交通バリアフリー基本構想、相模原市交通バリアフリー道路特定事業計画					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	相模原市交通バリアフリー道路特定事業計画		相模原市交通バリアフリー道路特定事業計画に基づき、バリアフリー化工事を進めるもの。		
計画年次	15	年度～	22	年度	
4 事業形態の区分 建築・整備・重要物品購入 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
全ての歩行者が安心して歩ける道を目指して、全てのバリアを取り除く事を目的とする。これにより、人に優しいみちづくり、しいては人に優しいまちづくりが実現される。				歩行者(健康者、高齢者、身体障害者等)	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
事業費12,597,900円に対し、相模大野駅北口駅前広場(市道相模大野32号)に新設の2段手摺りを63.4m、相模大野駅南口駅前広場(市道相模大野)に新設の視覚障害者誘導用ブロックを322.5m、舗装勾配の平坦性を161.5㎡の事業を実施した。なお、参考として補修費(2,305,370円)を運用して、市道相模大野駅前通に歩道巻込み部の改善を2箇所、市道磯部大野に歩道巻込み部の改善を1箇所、相模大野駅北口駅前広場(市道相模大野32号)に歩道巻込み部の改善を2箇所、新設の視覚障害者誘導用ブロックを3.0m、既設2段手摺りの改良を40m、階段下進入防止柵の設置を2箇所、相模大野駅南口駅前広場(市道相模大野)に歩道巻込み部の改善を8箇所の事業を実施した。					
6 関連・類似事業や他市の状況					
県内で道路特定事業計画を作成しているのは、本市の他に藤沢市、秦野市の2市で、両市共に事業を進めている。(藤沢市：藤沢駅周辺と湘南台駅周辺。秦野市：秦野駅周辺と渋沢駅周辺。鶴巻温泉駅周辺と東海大学駅前周辺は未着手。)					
7 事業費の推移 [単位：千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	0	12,491	12,598	50,400	53,800
一般財源	0	8,328	8,415	44,400	44,320
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	4,163	4,183	6,000	9,480
人件費の合計	0	2,297	2,315	2,976	2,976
事業コスト合計(a)	0	14,788	14,913	53,376	56,776
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	点字ブロック等バリアフリー化工事			対象名称(単位)	点字ブロックの延長(m)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	0	12,491	7,334	19,806	19,806
対象数	0	402	326	672	672
単位あたり経費(円)		31,041	22,531	29,473	29,473
前年度比			0.73	1.31	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	点字ブロックの延長（m）		指標式と指標の説明	点字ブロックの工事実績延長（m）	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	0.0	402.0	326.0		
目標	0.0	338.0	169.0	315.0	672.0
目標達成度		1.19	1.93		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	点字ブロックの延長（m）		指標式と指標の説明	点字ブロックの工事実績延長（m）	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	0.0	402.0	326.0		
目標	0.0	338.0	169.0	315.0	672.0
目標達成度		118.9	192.9		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業			
	[]：概ね良好な状況である事業			
	[]：見直しを行う必要がある事業			
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		高齢化の進展による本格的な高齢化社会の到来や、障害者が障害のない人々と同じように生活できるというノーマライゼーションの浸透等により、バリアフリー化工事は必須であり、また早急に対処していく必要がある。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
相模大野駅周辺は、土地区画整理事業、まちづくり委員会等によって整備された地区のため、バリアフリー化工事は既存のデザインを変えてしまう。そのため、早期の地元調整で理解を求めることにより、整備が効率的に進めるようにする必要がある。			平成22年度までに全ての路線を整備するためには、毎年、要求額の予算確保が必要である。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		効果的な事業実施を推進する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			